

# NEWS 病院ニュース

2010年4月 第21号 (年4回発行)

主な内容

- 1面 ●患者・家族・社会・病院の連携が重要  
——千葉大病院主催『市民公開講座』
- 2面 ●栄養中心に〈食欲〉の湧く料理づくり  
——千葉大病院の「なのはな食・あじさい食」  
●患者さんの声
- 3面 ●「千葉大病院情報」を積極発信！  
●〈ミニニュース〉田嶋要衆議院議員らが千葉大病院を視察／  
新看護師宿舎オープン！／病院経営セミナー
- 4面 ●〈フリートーク〉松宮 護郎(心臓血管外科教授)  
●〈亥鼻むかし・昔〉謎に包まれたままの「七天王塚」  
●〈トピックス〉ワクチンで予防できる時代に！



千葉大学医学部附属病院

〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1  
TEL 043-222-7171 (代表)

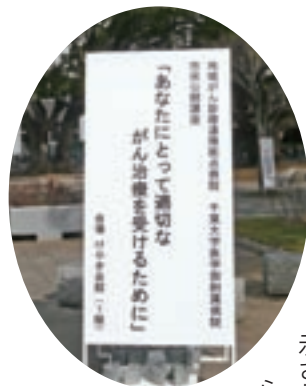
<http://www.ho.chiba-u.ac.jp/>



## 患者・家族・社会・病院の 連携が重要



けやき会館ロビー



開会に先立ち齋藤康  
見られました。

### あなたにとって適切な がん治療を受けるために

#### ●千葉大病院主催『市民公開講座』

「あなたにとって適切ながん治療を受けるために」をテーマに千葉大病院では、2月6日に市民公開講座を開催しました。

当日、会場となった千葉大学西千葉キャンパスけやき会館ロビーには、千葉県のがん関連患者団体の説明ブースが設置され、また千葉大病院各診療科のポスターも掲示されるなか、開始前から多くの方々が会場を訪れ、ブースの説明に耳を傾けたり、ポスター前を足を止める姿が見られました。



齋藤学長挨拶

千葉大学長は「日本人の2人にひとりが生涯のうちにがんに罹り、3人にひとりのがんで死亡する現状において、多くの市民が「がん」と闘う必要があり、そのためには正確な情報をより多く入手する必要があるので、この市民公開講座をぜひ役立てていただきたい」と挨拶しました。

基調講演では、多田裕司医師、花岡英紀医師から「がんの標準的治療法は日進月歩であり、新しい治療法開発のためには適切な臨床試験が必要であること」や「そのためのインフラ整備をするうえでの課題点」など、日本のがん治療の現状についての解説があつたほか、実際に臨床試験によるがん治療を受けられた方の体験談が披露されました。

続いて行われた総合討論では、患者団体関係者、千葉大病院の医療スタッフが登場し、がんの標準治療やこれを発展させていくための臨床試験に関する情報を患者が収集するための方法、そのためにさまざまな病院職員はどのようにお手伝いできるか——などが議論されました。その中で、現状では

まだまだ問題点もあることが分かりましたが、同時に患者・家族・社会・病院が協力し合いながら問題点を少しずつでも解決していくことが重要である——と確認されました。

最後に閉会挨拶の中で高林克日己・病院長補佐は「このような患者、市民、病院の共同作業の努力は継続していくことが重要であり、この市民公開講座を毎年開催する必要があります」と述べました。

こうした千葉大病院主催のがんに関する市民公開講座は、昨年1月開催(テーマ「がん」と上手につきあう患者学)に続く2回目ですが、今回の開催にあたっては、いくつかの患者団体関係者の方々にご協力いただき、事前にミーティングを行ってテーマや運営方法について貴重なご意見をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

今後も患者・家族・患者団体の皆様のご協力をいただきながら、より充実した市民公開講座を続けていきたいと思っております。なお、千葉大病院ホームページには「がん情報サイト」があり、このようないイベント開催のご案内をしております。ぜひご覧ください。



総合討論

### いの はな コラム

週末のジョギングが習慣になってから、6年以上になる。携帯プレーヤーで好きな音楽を聴きながら、海岸沿いの広い歩道をゆっくりと8キロほど走る。ランニングとジョギングの違いには諸説あるようだが、仮に走りながら会話ができるかどうかで区別されるのであれば、まさにその境界線のスピードである。

近年の健康志向ブームの影響もあるのか、多くのジョギング仲間とすれ違う。そして時に追い越される。走っている人以上に多いのが散歩中の犬たちであるが、こちらはペットブームの影響だろう。ミニチュアダックスフンドなど小型犬が圧倒的に多い。ちなみに、彼(彼女)らに追い越されたことはかつてない。さらに、年に数回はスタジアムからの応援帰りと思われる「M」のマークの野球帽をかぶった自転車少年たちや家族連れに出会うこともある。ちなみに千葉ロッテマリーンズと千葉大学は連携協力関係にあり、バレンタイン前監督は本学の客員教授でもあった。

走りながらふと仕事のことを考えることもあるが、自分に都合の良いように仕事をはかどる想像ばかりである。以前読んだ本に「デスクワークをする人にとっては運動することがストレス解消になり、一方ふだん体を動かさず仕事をしている人には、読書や音楽鑑賞などがストレスを軽減させる」とあった。デスクワークの私が、音楽を聴きながら走るとどのように作用しているのだろうか。相乗効果があるに違いない、きっと。

ジョギングを始めて、程なくして「タバコをやめた。喫煙者には年々厳しい社会情勢となっていることもあり「やめておいて良かったな」とつくづく感じている。しかし、ジョギング後の風呂上がりの「ビール」、いや「発泡酒」はなかなかやめられない。

(総務課 野田和宏)

# 栄養中心に〈食欲〉の湧く料理づくり

## 千葉大病院の「なのはな食・あじさい食」

食欲のない入院患者さんに、食べやすいメニューを——千葉大病院では、食欲のない方の嗜好に合わせた食事として〈なのはな食・あじさい食〉を提供、患者さんからは「適量で内容もよい」と好評です。

### ワーキンググループで創意工夫

〈なのはな食・あじさい食〉を始めたのは、平成20年3月から。化学療法中や疾病からくる体調不良時には、食欲がなく、思うように食事が摂れなくなる方も少なくありません。千葉大病院でも以前から、患者さんや病棟スタッフより「食欲がないときに食べやすいメニューを提供してもらいたい」という要望が多く挙げられていました。

### 量と内容、アンケートでも好評価

そこで、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師をメンバーとするワーキンググループを組織し、他施設や患者さんからの調査を参考に、メニューを開発しました。

〈なのはな食〉のメニューは、飲み物類（スープ、ジュース）とゼリー類（ヨーグルト）の2種類が中心。経口摂取の維持により、胃や腸の機能が衰えるのを防ぐことを目的としています。

また〈あじさい食〉は、主食類、冷たくさっぱりした料理、2種類の果物類、飲み物類（またはゼリー類）で構成されており、主食類は、ごはん、パン、麺、お粥から選択でき、パンの場合は毎朝焼ききたパンを提供しています。



あじさい食

たところ、「食事の量」、「内容」、「日々の変化」についてまずまずの好評価をいただきました。

しかしその一方で、「ジュースやゼリーなど甘い物が多い」「麺の量をもっと増やして」といった声もあり、ワーキンググループでは、今後これらを貴重なご意見として、さらに病院食の改善に取り組んでいきます。

因みに〈なのはな食・あじさい食〉のネーミングは、病院スタッフの公募によりつけられました。〈なのはな食〉の由来は、花言葉が「快活、小さな幸せ」であることから「口から食べられる安心や喜びを感じていただけるように」。また〈あじさい食〉は、色の変化が、体調の変化にあわせて選択できるお食事の意味合いと共通していること。花言葉が「愛情・元氣」であることから、お食事を通して少しでも元氣になっていただけるように——との願いが込められています。

### ご意見をお聴かせください！

〈なのはな食・あじさい食〉については、病棟スタッフもしくは管理栄養士にお尋ねください。

また、治療や疾病による食事量の低下を予防する目的で、管理栄養士が入院患者さんの栄養管理計画を作成しており、現在60%程度の病棟で実施しています。

入院後、管理栄養士がご部屋にお伺いしますので、栄養に関してお困りのことがございましたらご相談ください。そのほか、管理栄養士にご相談したいことがあれば栄養相談をご予約ください。

## 患者さんの声

皆様の声にお答えします

**Q** 病衣の上着にもポケットがあると便利なのですが。

**A** 貴重なご意見ありがとうございます。従来においても同じようなご意見をいただいているところですが、ポケットを病衣につけますと私物をいれたまま病衣が交換された際に紛失につながる心配があります。このため病衣にはポケットをつけておりません。ご理解とご協力をお願いいたします。

**明日**で退院となります。本当に皆様にお力添えのお陰で、なんとか元気になりました。A先生をはじめチームの皆様には、朝から夜遅くまでお世話になりました。

病室以外の話も何でも聞いてくださり、病人としては本当に心強かったです。今後は外来でお世話になりますが、よろしくお祈りします。

また研修医のみなさん、頑張ってください。千葉大病院には、日本一の先生が大勢いらっしゃいます。お体に十分気を付けて、医学に努力されてくださいませ。



なのはな食

平成23年度 **常勤職員**  
**看護師・助産師 募集!**

**Heart, Skill**  
心のこもった看護と 先進医療を支える看護技術を  
**Responsibility**  
看護職として責任を持って提供することです

私たちが  
目指すもの

- 資格/看護師・助産師免許を取得されている方  
または新卒者で取得見込みのある方
- 待遇/当院規定により優遇します。
- 応募/電話連絡の上履歴書・看護師等の免許証(新卒の方は成績証明書)を  
郵送下さい。なお、選考日については本院HPを参照してください。

■応募またはお問い合わせ先  
☎043-222-7171

**千葉大学医学部附属病院**  
<http://www.chiba-kangobu.jp/pc/index.html>

総務課人事係 (内線6020)  
看護部副看護部長室(内線6518)

応募随時受付

「千葉大病院情報」を  
積極発信!

定例記者懇談会をスタート

千葉大病院では、今年からの新たな取り組みとして、報道機関の方々に招いた「懇談会」を定期的に開催することとし、その第1回目が1月12日に開催されました。

この懇談会は、本院の再開発計画や研究成果、行事予定やトピックス等の情報を積極的に発信していくことにより、大学病院について正しく理解してもらうことを目的としています。

当日は、新聞2社とテレビ2社から5名が参加し、まず初めに河野病院長から開催趣旨の説明があり、続いて山本副病院長より病院の再開発計画についてのプレゼンテーションが行われました。

その後の懇談会では、新外来棟建設や高度救命救急センター整備など現在進行中の再開発計画に関することや、地域連携バス・医師の研修制度など、幅広い内容についての意見交換・質疑応答が行われました。

懇談会の翌日には、再開発計画に関する記事が新聞2紙に掲載されたほか、その後テレビニュースでも紹介されるなど、多くの方々に本院に関する情報をお伝えすることができました。

mini news

田嶋要衆議院議員らが  
千葉大病院を視察



屋上ヘリポートで織田救急部長(右端)から説明を受ける田嶋議員(手前左から2人目)と谷田川議員(同3人目)

これからの地域医療はいかにあるべきか——などをテーマに、田嶋要衆議院議員(千葉県1区)、谷田川元衆議院議員(千葉県10区)、水野智彦衆議院議員(比例南関東)が、さる2月24日千葉大病院を訪問しました。

一行は、河野病院長から病院概要・地域医療連携・拡充整備計画・救急医療に関する説明を受けた後、救急部・放射線部・ICU(集中治療室)・手術部・NICU(新生児集中治療室)・屋上ヘリポート・特別病室などを視察し、NICUでは担当医師から、「ベッドは常に満床であるが、スペースの問題もあり増床困難である」「ハイリスク出産が大学病院に集中しているため将来的には大学病院のNICU拡大が必要である」などの説明を受けました。

視察後の意見交換会では、女性医師や看護師の就業環境改善のための取り組みや、医師不足の現状と大学病院が果たす役割と課題、千葉大病院と地域医療とのつながりなどについて様々な意見が述べられるなど、短い時間でしたが活発な意見交換が行われました。

経営改善アイデア大賞に大きな拍手!!

●病院経営セミナー

千葉大病院では、さる3月1日(月)本年度第3回目の病院経営セミナーを開催しました。セミナーでは、病院職員211名が出席するなか、「経営の状況」「経営改善アイデア大賞/童話コンクール」「病院再開発計画の進捗状況」「平成22年度診療報酬改定」などが説明されました。

出席者の関心の高いテーマが続いたこともあって、会場は熱気にあふれ、特に今回初めて実施した「経営改善アイデア大賞」の表彰式では、参加者からより大きな拍手が起きました。

この賞は、病院経営に優れたアイデアを提供した職員を表彰するために創設されたもので、「電話等通信費の削減」「廃棄ゴミの分別



受賞者と河野病院長で記念撮影

徹底」「患者さん向け案内の改善」「光熱費のムダ削減」など、多くのアイデアが寄せられ、その中から選ばれた受賞者に、河野病院長より表彰状が授与されました。

千葉大病院では、今後もより優れた医療の提供をめざし、このような機会を通じて様々なアイデアを出し合いながら前進していきたいと考えております。

ワンルーム形式、冷暖房完備

●新看護師宿舎オープン!

看護師の福利厚生施設の一つとして「看護師宿舎」があります。これまで千葉大病院の看護師宿舎は、昭和40年代に建設された晴暉(せいき)寮A棟(平成7年に改修済)と平成6年に建設されたB棟の2棟、合計113戸のみでした。このため、毎年看護師が増員されていく中で、入居希望者すべてを受け入れられない状態が続いていました。

千葉大病院では看護師が安心して働くための就業環境整備の一環として、新たな看護師宿舎建設の検討を行い、この度の竣工を迎えたわけです。

新たに完成した宿舎は、5階建の合計150戸で、名称は従来のもをそのまま引き継ぎ、「晴暉寮C棟・D棟」としました。室内はワンルーム形式で、バス、トイレ、冷暖房完備。セキュリティ面も工夫されており、本年2月に入居希望者の引っ越しが行われました。



F R E E

〈フリートーク〉

T A L K

【プロフィール】

●昭和36年広島市生まれ。大阪大学医学部に在籍中、恩師の講義で「心臓病にはまだまだ未解明の部分がたくさんあり、治療では外科の果たす役割が大きい」との話しに強い関心を持ち、心臓外科の道へ。信条は「何事にも持てる知識、技術を100%発揮すること」。家族は妻と子供2人。趣味はゴルフ。

私の所属する「心臓血管外科」は、千葉大医学部では以前「第一外科」の中に取りましたが、平成21年10月に独立し、私が初代教授を務めさせていただきましたことになりました。

他科との連携など問われる総合力

日本人の病気による死亡原因の第1位はがんと。2位は心臓疾患、3位が脳血管疾患で、これらのうち心臓疾患は、ライフスタイルの変化、特に食事の洋風化などとともに増加傾向を続けているといわれます。そのおもな原因は、悪玉コレステロールの蓄積などによる動脈硬化です。心臓は、人間の全身と肺に血液を送るポンプの役割をする臓器であり、そのポンプとして働く筋肉を養う管が詰まったりすれば皆さんご存知の「心筋梗塞」や「心不全」「狭心症」を起し、ポンプの弁が故障すれば「心臓弁膜症」となります。いずれも、血液の流れに異常が起こるわけですから、死亡につながる率も高いわけです。

ライフスタイルの変化で増える心臓病

使命は「高度医療」「研究開発」「教育」



千葉大学医学部附属病院 心臓血管外科教授 松宮 護郎

おもな診療内容は、一つは血管が詰まり、血液が流れにくくなった場合に行う冠動脈のバイパス手術で、人工心臓をほとんど使わずに行い、術後死亡率、合併症の発生点できわめてよい成績を挙げています。また、心臓弁膜症については、患者さんの弁を温

- 存する弁形成術を中心に治療を実施。そのほか、先天性心疾患、動脈瘤、胸部大動脈疾患、末梢血管疾患なども扱っていますが、それらの治療を進めていく中で、麻酔、集中治療、循環器、消化器、代謝内分泌、血液などの診療科との連携・協力関係もふだんから築いておくことが大切です。何よりも大学病院の持つ総合力が高度医療実践のためには不可欠となります。
- 多くの専門医を育成したい！
- こころした日頃の治療活動はもちろん重要なことではありますが、確立された治療法については一般病院で導入されていることでもあり、私共の役割としては心臓疾患に関する未解明の分野にチャレンジをし、新しい治療法を研究・開発していくことも忘れてはならないと思っています。
- また、若手外科医の育成に力を注ぎ、臨床経験を積んでもらって、専門医を一人でも社会に、そして医療現場へ送り出すことに努めてまいります。「教育」「高度医療の提供」「新しい治療法の研究開発」の3つが私共大学病院の使命と考えております。
- ① 揚げ物や卵などの温め直し(特に電子レンジ利用)は避ける  
② 二度揚げやフライ油の長期保存はさける  
③ ファストフードや油を使った加工食品を控える  
④ バラ肉など脂身の多い肉は、網焼きやゆでる調理を  
⑤ 食物繊維(野菜、きのこ、海藻、雑穀類)を努めて多く摂る

トピックス

ワクチンで予防できる時代に！

●子宮頸がん

今年に入り、日本でもようやく子宮頸がんの予防ワクチンが使えるようになりました。「ワクチンで子宮頸がんの予防?」と、ピンとこない方もいらっしゃると思います。子宮頸がんは、ヒト・パピローマ・ウイルス(HPV)というウイルス感染が原因で起こります。子宮頸がんに関連するHPV(発がん性HPV)は、15種類ほど見つかっていて、多くの場合性行為により子宮の入り口に感染します。性病とは異なり、性経験のある女性のほとんどが、一生に一度は感染するありふれたウイルスです。このうち、発がん性HPV16型・18型に対する予防ワクチンが開発されました。16型・18型は他のタイプに比べて子宮頸がんになりやすく、日本では子宮頸がんの60%ほどを占めています。このワクチンは、海外ではすでに100カ国以上で使われていて、12歳を中心に9~14歳で接種が開始されています。子宮頸がんは、国内で年間約8000人が発症していますが、近年20~30歳代の患者が増加しており、この年齢で最も多いがんとなっています。子宮摘出や放射線治療をした場合は、治療しても妊娠できなくなります。ワクチンで予防できるがんは、他にはありません。特に若い女性や、お子さんにはワクチンを接種し、子宮頸がんの予防を始めてください。最後に、ワクチンを接種しても子宮頸がんは100%の予防はできません。20歳を過ぎたら、子宮頸がん検診を受けるようにしましょう。

(婦人科 三橋 暁)

あとかぎ

桜が咲きました。「今年は少し遅いかな」と思っていたのですが、ほぼ例年並み。皆さん連絡道路の桜のトンネルをお楽しみください。さて春は異動のシーズンです。病院でも行く人あり、来る人あり、不思議な活気に満ちています。新人医師や新人看護師の初々しい白衣姿が楽しみです。5月になると、にし棟改修2度目の引っ越しがあります。入院中の患者さんはもちろん、来院される方々にご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。あんなに騒がれていた新型インフルエンザが、沈静化してきました。一時期はどうなることかと思っていたのですが、ひとまずホッとしています。しかし、引き続きうがいや手洗いなどを行って、日頃からの健康管理をしていきましょう。

(ひがし棟2階看護師長 河野鈴子)

亥鼻 むかひ・昔 12

謎に包まれたままの「七天王塚」

千葉大学医学部の敷地内と敷地外にある「七天王塚」について、大正八(1919)年に刊行された「日本伝説叢書・下総の巻」に、次のような記述があります。

「千葉町猪の鼻山に、七つ塚と呼ばれる塚がある。七カ所ともに松が数株あり、碑には「七天皇」と刻まれて、毎年七月、参拝する人が少なくない。七天皇は、閻魔王などの七王を祀れるもので、昔の十王堂の名残である。十王のうち七王を祀る例は、伊豆などにもあり、この思想が、この塚の基礎となったと思われる。七月にこれを祀る風習となっているのが、最もその証明と

なっているのではないかと。然し、最初ある七人の塚を祀ったもの、後に七王を祀る思想と混同したのであるかもしれないし、又、源頼朝主従七人の供養塔があつたものが、後にその謂れが分からなくなったのかもしれない。

この本の編著者である藤沢衛彦氏も、いろいろ推測

千葉市郷土博物館下の高徳寺・閻魔堂>

しながら結論が出せずいたようです。十王とは、秦広王、初江王、宋帝王、伍官王、閻魔王、変成王、太山府王、平等王、都市王、五道転輪王のことで、先祖供養のために信仰され、旧暦七月十五日を中心に盆の行事やお参りが行われていました。

供養塔の話も、主従が七人ということが重要で、七王、七月、七人、すべてキーワードは「七」です。藤沢氏が本を出してから90年経った今も、「七天王塚とは何か」という問いに明確な結論は出ず、謎に包まれたままです。

(歴史民俗研究家 宮原さつき)